

平成28年度 豊見城中央病院 病院指標

[医療法における病院等の広告規制について（厚生労働省）](#)

1. [年齢階級別退院患者数](#)
2. [診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）](#)
3. [初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数](#)
4. [成人市中肺炎の重症度別患者数等](#)
5. [脳梗塞のICD10別患者数等](#)
6. [診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）](#)
7. [その他（DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）](#)

年齢階級別退院患者数

[ファイルをダウンロード](#)

年齢区分	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～
患者数	967	270	382	780	1144	1294	2535	2580	2078	528

当院は地域医療支援病院の承認を受けており、地域に根ざした医療を行い、地域の医療機関や介護施設との連携を強化しています。また、入院診療科が16診療科あるため幅広い年齢層の患者様の診療にあたる事が可能です。近年、少子高齢化社会と言われて久しく、当院でも60歳以上の高齢者の入院数が多くなっております。

診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

[ファイルをダウンロード](#)

■呼吸器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
040120xx99000x	慢性閉塞性肺疾患	39	9.49	13.58	12.82%	75.33	○
040100xxxxx00x	喘息 定義副傷病名なし	33	6.79	6.42	0.00%	50.12	○
040110xxxxx0xx	間質性肺炎	27	17.41	19.92	7.41%	73.07	
040100xxxxx01	喘息 定義副傷病名あり	15	10.76	12.38	4.00%	72.80	○
0040081xx99x00x	誤嚥性肺炎	19	16.16	21.25	21.05%	75.79	○

当院は日本呼吸器学会認定施設であり、最新鋭診断機器（高分解脳CT、PET/CT等）を備えて包括的な呼吸器疾患患者様の治療を目的として指導医他専任スタッフ4名が中心となり医療を実践しています。喘息・肺炎・慢性閉塞性肺疾患（COPD）・肺癌・間質性肺炎など全ての分野にわたり診療しています。

呼吸療法士が常駐し、呼吸器リハビリも積極的に行い、薬剤師も含め多職種でチーム医療を提供しています。

■消化器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
060340xx03x00x	胆管（肝内外）結石 胆管炎限局性腹膜膿瘍手術等あり	152	8.70	11.06	1.32%	76.12	
060102xx99xxxx	穿孔または膿瘍を伴わない憩室性疾患	85	7.14	7.89	1.18%	67.06	
060280xxxxxxxx	アルコール性肝障害	62	12.56	16.16	8.06%	55.61	

060350xx99x00x	急性肺炎	43	9.51	11.84	0.00%	53.23	
060140xx97x00x	胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄（穿孔を伴わないもの） その他の手術あり	42	9.81	10.93	4.76%	69.57	

沖縄は全国的に胆道系疾患が多く、胆管結石や胆管がんに対して乳頭切開術（EST）、拡張術（EPD）、ステント留置の検査が連日行われています。従来からの治療法である外科的切除を行わなくても内視鏡的治療法で完治できる症例がかなり増えています。また、近年消化器科医の減少傾向にある中、地域住民の皆さまをはじめ遠い地域や離島からの紹介患者様も年々増加傾向にあります。

■循環器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
050050x99100x	狭心症、慢性虚血性心疾患（検査入院）	462	2.93	3.06	0.00%	67.58	○
050050xx02000x	狭心症、慢性虚血性心疾患（経皮的冠動脈形成術等あり）	320	4.36	4.71	0.31%	68.56	○
050050xx99200x	狭心症、慢性虚血性心疾患（検査入院）	165	2.99	3.22	0.61%	68.72	○
050070xx01x0xx	頻脈性不整脈（経皮的カテーテル心筋焼灼術あり）	140	5.16	5.51	0.00%	62.61	○
05130xx99000x	心不全	76	11.37	17.95	5.26%	80.62	

当院は日本循環器学会研修認定施設・日本心血管インターベンション学会研修関連認定施設・日本不整脈心電学会専門医研修認定施設です。心臓血管外科医師とハートチームを形成し、日々循環器疾患患者様を治療させていただいております。従来より循環器内科医師が24時間365日院内に待機している体制に加えて、平成26年12月から近隣の救急隊とも連携協力体制をとり、モバイル心電図電送システムを活用した診断システムを採用しました。今後とも救急体制および他施設と連携し離島島国である沖縄県全体へ広がることに期待しているところです。

■腎臓内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
110310xx99xx0x	腎臓または尿路感染症	137	11.15	12.43	5.11%	74.18	
040081xx99x00x	誤嚥性肺炎	114	14.09	21.25	9.65%	83.32	
110280xx991x0x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	59	6.85	7.58	1.69%	50.80	○
0400801499x001	肺炎等（市中肺炎かつ75歳以上）	51	10.76	13.60	5.88%	84.02	
180010x0xxx0xx	敗血症	45	24.64	19.24	13.33%	78.53	

当科は膠原病による腎疾患等を中心に診療しています。年間80-100件の腎生検もを行い、あらゆる腎疾患に対応しています。ジェネラルの疾患として、尿路感染症や誤嚥性肺炎などの患者さんも診させてもらっています。

■糖尿病内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
100180xx99000x	副腎皮質機能亢進症、非機能性副腎皮質腫瘍（検査入院）	142	5.26	6.12	0.70%	53.23	○
110310xx99xx0x	腎臓または尿路感染症	137	11.15	12.43	5.11%	74.18	

110310xx99xx0x	腎臓病には水増感末止	39	12.49	12.43	0.00%	78.13	
040081xx99x00x	誤嚥性肺炎	34	23.50	21.25	14.71%	82.50	
100040xxxxx00x	糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン昏睡	27	12.41	13.78	0.00%	49.11	
100070xx99x100	2型糖尿病（糖尿性ケトアシドーシスを除く）（末梢循環不全なし）	26	14.00	14.61	0.00%	59.96	○

糖尿病・生活習慣病のほか、内分泌・代謝性疾患などの全身管理を行い合併症の予防と治療を行なっています。外来部門は専任看護師が常駐し、各科との連携を密にしながら全身管理を図り、入院部門は合併症の治療と内分泌疾患の精査加療を主な柱とします。合併症を持っている症例に対しては、専任スタッフによりその都度徹底的に治療、看護、教育を行い、再発の防止に努めています。

■小児科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
040100xxxxx00x	喘息 定義副傷病名なし	406	6.00	6.42	0.49%	3.13	○
040090xxxxx0x	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症（その他）	137	6.76	6.02	0.73%	0.65	○
0400801199x00x	肺炎等（1歳以上15歳未満）	66	6.15	5.79	0.00%	4.68	○
140010x299x0xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害（出生体重1500g-2500g未満）	38	7.84	11.55	5.26%	0.00	
150010xxxxx0xx	ウイルス性腸炎	37	3.05	5.50	0.00%	4.00	

一般小児科全般を扱っており、特に小児アレルギー疾患に関しては症例数が多いのが特徴です。アレルギー専門医が月曜日から金曜日午前中ほどの曜日においても専門外来を担当しています。また、循環器専門外来は週に1回実施しております。

■外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
060335xx02000x	胆嚢水腫、胆嚢炎等（腹腔鏡下胆嚢摘出術等あり）	81	7.95	7.61	0.00%	58.96	
060150xx03xxxx	虫垂炎（虫垂切除術あり）虫垂周囲膿瘍伴わないもの	59	4.39	5.60	1.69%	33.32	
060330xx02xxxx	胆嚢疾患（腹腔鏡下胆嚢摘出術等あり）	47	5.85	6.82	0.00%	55.55	
060035xx01000x	結腸の悪性腫瘍（結腸切除術等あり）	45	16.00	15.92	0.00%	69.64	
040040xx97x0xx	肺の悪性腫瘍（手術あり）	45	11.47	12.73	0.00%	66.62	○

病気で手術を要する方々に安全で適切な手術治療が提供出来るよう、日々治療技術の研鑽を積み、専門領域別診療グループによる治療を基本としています。主な診療領域は、肝臓、膵臓、大腸、胃、肺、乳腺、血管領域を基本としています。また、抗がん剤治療や、消化器がん手術、鼠径ヘルニア手術についても治療数や手術数が多く、安全で安定した成績の良い治療の提供が期待できます。

■整形外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
--------	-------	-----	--------------------	--------------------	-----	------	-----------

070230xx01xxxx	変形性膝関節症（人工関節置換術等あり）	428	15.07	26.26	18.69%	74.08
07040xx01xxxx	股関節骨頭壊死、変形性股関節症（人工関節置換術等あり）	160	16.66	24.42	10.63%	69.13
160800xx01xxxx	股関節大腿近位骨折（人工骨頭挿入術あり）	159	21.06	27.63	67.30%	79.63
160760xx97xx0x	前腕の骨折（手術あり）	83	2.27	5.49	0.00%	51.70
160620xx01xxxx	肘、膝の外傷（縫合術等あり）	61	5.52	11.91	0.00%	39.15

整形外科すべての分野に関して専門家及び設備を有した沖縄県随一の病院です。離島地域の患者様も多く年間手術件数は約2,000件を数えます。

平均在院日数を全国と比較した場合、いずれも短い日数となっており早期退院を実現しております。

クリニカルパスに沿って十分な管理のもとリハビリテーションを実施し、日常生活動作（ADL）の向上をめざしているためと思われる。人工膝関節置換術症例数につきましても、県内外トップレベルです。

■形成外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
080180xx99xxxx	母斑、母斑症（手術なし）	42	1.02	3.26	0.00%	3.21	
070071xx97xxxx	骨髄炎 上位以外（手術あり）	39	46.59	37.14	38.46%	70.15	
100100xx97x0xx	糖尿病性足病変（手術あり）	17	19.00	26.28	11.76%	68.29	
160200xx0200xx	顔面損傷（尾骨骨折整復固定術等あり）	14	3.14	5.80	0.00%	29.36	
080011xx99xxxx	急性膿皮症（手術なし）	12	11.08	11.97	0.00%	66.67	

当科は、顔面・手足・その他全身にわたる部位の外傷、傷跡などによる後天性変形や、先天性異常を外見的・機能的に配慮しながら修正・再建し治療をする外科です。生来より生じる、また成長過程や外傷などの結果生じる母斑や血管腫など、機能のみならず形態・外見に配慮した治療を友愛の心をもって実践することで患者様の社会的適応を妨げないようにすることが当科の使命と考えます。

■脳神経外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
010030xx9910xx	未破裂脳動脈瘤（検査入院等）	51	2.12	3.20	0.00%	62.45	
010030xx03x00x	未破裂脳動脈瘤（脳血管内手術あり）	33	5.64	10.24	0.00%	59.88	
010070xx9910xx	脳血管障害（検査入院等）	28	3.39	3.25	0.00%	68.32	
160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷（手術なし）	26	5.88	7.52	3.85%	52.15	
160100xx97x00x	頭蓋内損傷（手術あり）	25	12.36	9.87	8.00%	77.32	

当科は、あらゆる脳卒中疾患に24時間365日の確かつ迅速に対応し、地域に密着した着実な診療により怖くない治療を目指しています。

侵襲が少ない脳血管内治療の進化により多くの患者様を救うことが出来ている点が注目できます。

■心臓血管外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
050080xx01010x	弁膜症（自己肺動脈便組織による大動脈基部置換術あり）	26	20.88	24.70	3.85%	73.04	

	換術等あり)						
050050xx01110x	狭心症、慢性虚血性心疾患（心室瘤切除術等あり）	17	21.12	27.92	0.00%	66.41	
050080xx0111xx	弁膜症（自己肺動脈便組織による大動脈基部置換術等あり、手術・処置等1あり）	14	28.00	38.92	7.14%	69.71	
050180xx97xxxx	静脈・リンパ管疾患（手術あり）	-	-	3.34	-	-	
050161xx97x10x	解離性大動脈瘤（手術あり）	-	-	28.23	-	-	

地域に根付いた医療を行うために心臓血管外科は2011年4月1日開設しました。

私達の目指す心臓血管外科治療として、1. 原疾患に対する根治術 2. 術後ADLを落とさない周術期管理 3. 危機的状態にある患者さんの救命を掲げて個々の患者様に応じた治療を行なっています。

また、常に、患者様にとって侵襲が少ない治療法、負担の少ない治療法を選択して良好な治療結果を残しております。

*症例数が10件未満のものについては、患者様が特定され得るため情報は記載いたしません。

■産婦人科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パス
120220xx01xxxx	女性性器のポリープ（子宮全摘術等あり）	48	1.25	3.08	0.00%	43.17	○
120140xxxxxxxx	流産	48	1.63	2.43	0.00%	34.83	
120070xx02xxxx	卵巣の良性腫瘍（卵巣部分切除術等あり）	47	5.21	6.42	0.00%	46.04	○
120230xx02xxxx	子宮の非炎症性障害（子宮鏡下子宮中隔切除術、子宮内腔癒着切除術等あり）	39	1.05	2.50	0.00%	45.36	○
120060xx02xxxx	子宮の良性腫瘍（腹腔鏡下腔式子宮全摘術等）	38	5.45	6.29	0.00%	41.32	○

当科は、産科・婦人科・不妊外来と3つの領域に分かれております。

妊娠中に発生する多様な疾病に対応し、専門医師が頻繁に協議を行いあらゆる症例に対して一定で常に高い水準での医療を実践しております。

婦人科では良性疾患に対する腹腔鏡下手術や子宮鏡下手術に力を入れております。また、悪性疾患に対しては、婦人科悪性腫瘍専門部門を設立し高度な技術、知識を要した手術・化学療法にも対応しております。

不妊外来につきましては、一般治療をはじめ、高度生殖医療（体外受精、男性不妊症に対する精巣精子を用いた顕微授精“TESE”）も行なっております。

■眼科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
020150xx97xxxx	斜視 外傷性・癒着性を除く（手術あり）	15	2.33	3.36	0.00%	38.13	
020130xxxxxxxx	原田病	-	-	16.26	-	-	
020250xx97xxxx	結膜の障害（手術あり）	-	-	3.40	-	-	
020220xx97xxx0	緑内障（手術あり）	-	-	9.15	-	-	

白内障、緑内障、角結膜疾患、ぶどう膜疾患、眼底疾患（網膜症含む）などについて、視能訓練士も加わり正確な検査と訓練を心掛け診療に当たっています。主な手術は白内障、翼状片、眼瞼内反症などを行っており、白内障については日帰り手術も行なっております。最も多い症例は、白内障ですがDPC対象ではないため上記には計上されていません。

*症例数が10件未満のものについては、患者様が特定され得るため情報は記載いたしません。

■耳鼻咽喉科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
030240xx99xxxx	扁桃腺周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎（手術なし）	30	4.77	5.50	0.00%	36.53	
030350xxxxxxxx	慢性副鼻腔炎	24	5.58	7.47	0.00%	45.63	○
030230xxxxxxxx	扁桃、アデノイドの慢性疾患	19	10.84	8.12	0.00%	25.89	○
030428xxxxxxxx	突発性難聴	-	-	9.37	-	-	
03001xx99x00x	頭頸部悪性腫瘍（手術なし）	-	-	13.57	-	-	

耳鼻咽喉科領域全般の診療を行っており、特に副鼻腔炎やアレルギー性鼻炎などの鼻疾患の手術治療に力を入れています。また同時期、短期入院パスを導入したことで約半分の日数で済むようになりました。

■皮膚科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
080020xxxxxxxx	帯状疱疹	32	6.97	8.96	0.00%	65.81	
080011xx99xxxx	急性膿皮症（手術なし）	18	11.72	11.97	0.00%	63.67	
080006xx01x0xx	皮膚の悪性腫瘍 黒色腫以外（皮膚悪性腫瘍切除術等あり）	14	8.07	8.78	0.00%	84.21	
080100xxxx0xxx	薬疹、中毒疹	-	-	11.28	-	-	
080110xxxx0xx	水疱症	-	-	30.11	-	-	

当院では、湿疹や皮膚炎、帯状疱疹や皮膚腫瘍など様々な症例を診療しております。様々な原因で起こる皮膚疾患についてしっかりと原因検索を行った上で治療に当たっています。また、通常診断する際に一部採取して検査をする「痛みを伴う検査」が必要ですが、当科ではダーモスコピー診断により「痛みのない検査」で皮膚腫瘍の診断を行うことが可能です。

■泌尿器科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
11012xxx020x0x	上部尿路疾患（経尿道的尿路結石除去術等あり）	107	5.24	5.83	0.93%	60.21	○
110070xx0200xx	膀胱腫瘍（膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術あり）	57	9.19	7.44	0.00%	74.75	
110420xx97xx0x	水腎症 その他（その他の手術あり）	45	6.56	5.33	0.00%	66.89	○
11012xxx97xx0x	上部尿路疾患（その他の手術あり）	28	9.68	7.08	3.57%	62.32	○
11001xxx01x0xx	腎腫瘍 腎（尿管）（悪性腫瘍手術あり）	21	15.38	12.52	0.00%	63.19	

当科は尿路結石症、水腎症をはじめ、近年増加傾向にある前立腺腫瘍、膀胱腫瘍などの症例について診療しております。高齢化社会が更に進み、尿路・排尿管理は重篤な感染症の原因となるために重要であり、医療のみならず介護の場でも、泌尿器科のニーズはますます高まっており、患者様が、常に安心できる医療を受けられる診療を行うよう努めます。

	初発					再発	病期分類 基準（※）	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	22	12	18	-	-	-	1	7
大腸癌	29	35	35	29	15	-	1	7
乳癌	25	13	-	-	-	-	1	7
肺癌	21	-	15	23	10	-	1	7
肝癌	12	-	-	10	-	12	1	7

※ 1：UICC TNM分類， 2：癌取扱い規約

当院は、がん治療認定医研修施設の一つで、南部医療圏（浦添市以南）における治療経験数は、大腸がんで2番目、胃がんで3番目の実績があり、胃・大腸・肝（消化器内科・消化器外科）、肺（呼吸器内科・呼吸器外科）、乳（乳腺外科）で診療しています。

癌治療を早期に行うメリットとしましては、内視鏡的治療や腹腔鏡下治療といった患者様へのダメージを比較的抑えることができ、診断当初から緩和ケア・がん化学療法看護認定看護師・薬物療法認定薬剤師と連携し、チーム医療で多角的な支援の取り組みとして、「がんサーボード」と呼ばれるがん治療に特化した会議（医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、心理療法士など多職種で結成されたチーム）を行い、患者さまごとに化学療法のレジメン（抗がん剤の組み合わせ）などの治療方針について意見を交換し合い、より効果的な治療を提案する場を設けています。

また、豊見城中央病院付属健康管理センターにて「がん検診」、豊崎クリニックではPET検査等もあり、早期発見・早期治療に努めています。

*症例数が10件未満のものについては、患者様が特定され得るため情報は記載いたしません。

成人市中肺炎の重症度別患者数等

[ファイルをダウンロード](#)

	患者数	平均 在院日数	平均年齢
軽症	87	7.66	51.41
中等症	206	12.23	79.52
重症	27	13.85	83.33
超重症	25	17.16	80.80
不明	0	0	0

患者数が最も多いのが、中等度です。軽症の患者様の平均年齢が50代に対し、中等度～超重症の患者様の平均年齢は80歳前後と後期高齢の年齢層になっております。

成人市中肺炎診断ガイドラインでは、軽症の患者様は外来治療となっており、入院加療の適応ではないことがありますが、軽症の患者様であっても、患者様の基礎疾患によっては、重症化もあり得るため、入院適応となる場合もあります。

脳梗塞のICD10別患者数等

[ファイルをダウンロード](#)

ICD10	傷病名	発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率
G45\$	一過性脳虚血発作及び関連症候群	-	34	5.35	71.24	0.00%
G46\$	脳血管疾患における脳血管(性)症候群	-	-	-	-	-
I63\$	脳梗塞	-	187	18.35	73.01	33.69%
I65\$	脳実質外動脈の閉塞及び狭窄，脳梗塞に至らなかったもの	-	58	8.07	73.10	5.17%
I66\$	脳動脈の閉塞及び狭窄，脳梗塞に至らなかったもの	-	-	-	-	-

1675	もやもや病<ウイルス動脈輪閉塞症>	-	-	-	-	-
1679	脳血管疾患, 詳細不明	-	-	-	-	-

入院される患者様の大半が平均年齢は70代前半で高齢者の患者様が多くなっており、平均在院日数は病名によって差がありますが、長くて20日程度の入院期間で治療とリハビリを行い、半数以上の方が自宅もしくは施設へ退院し、約3割の患者様が継続リハビリのためリハビリ専門の病院へ転院されています。

また、当院では主に内科と脳神経外科で脳梗塞の患者様の診療をおこなっております。内科では、脳梗塞で脳血管に詰まった血栓を溶かし血流を再開させる血栓溶解療法（t-PA治療）を行い、医師により手術適応と判断された場合には、脳神経外科の医師へ引き継がれます。また、救急外来の患者様についても脳神経外科医がいつでも迅速に対応することが可能です。

*症例数が10件未満のものについては、患者様が特定され得るため情報は記載いたしません。

診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

[ファイルをダウンロード](#)

■呼吸器内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K386	気管切開術	-	-	-	-	-	
K6153	血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等） その他のもの	-	-	-	-	-	
K515	肺剥離術	-	-	-	-	-	
K0005	創傷処理 筋肉、臓器に達しないもの（長径5センチメートル以上10センチメートル未満）	-	-	-	-	-	
K0011	皮膚切開術 長径10センチメートル未満	-	-	-	-	-	

呼吸器内科では、手術症例はそう多くはありませんが、嚥下機能が低下し誤嚥性肺炎など併発しやすく、自力での喀痰排出が困難となった場合に実施します。気管切開を行い切開口から喀痰を吸引してあげることにより、呼吸困難などの症状を軽減させる効果があります。

*症例数が10件未満のものについては、患者様が特定され得るため情報は記載いたしません。

■消化器内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	120	0.83	10.98	5.00%	78.93	
K654	内視鏡的消化管止血術	50	0.62	9.56	8.00%	68.08	
K6871	内視鏡的乳頭切開術 乳頭括約筋切開のみのもの	42	1.07	5.86	2.38%	68.14	
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術 長径2センチメートル未満	28	1.54	1.46	0.00%	64.96	
K721-4	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	24	1.21	5.38	4.17%	65.46	

消化器内科では、胆道疾患に対して行われる手術である内視鏡胆道ステント留置が最も多くなっており、狭くなっている胆道にチューブを挿入して拡張し、胆汁の流れをよくする手術です。

次いで、吐血・血便など消化管から出血している患者様に対して行う内視鏡的消化管止血術が多くなっており、

また、大腸ポリープや大腸腺腫に対する内視鏡ポリープ・粘膜切除術は短期入院となっており、日帰り手術も行なっていることから今回の条件より少々患者数が減少していると思われます。

■循環器内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K5493	経皮的冠動脈ステント留置術 その他のもの	254	1.34	2.32	0.79%	67.47	○
K5951	経皮的カテーテル心筋焼灼術 心房中隔穿刺又は心外膜アプローチを伴うもの	97	1.19	3.81	0.00%	64.46	○
K616	四肢の血管拡張術・血栓除去術	57	1.58	3.70	1.75%	70.37	○
K5952	経皮的カテーテル心筋焼灼術 その他のもの	51	1.12	2.06	0.00%	57.88	
K5972	ペースメーカー移植術 経静脈電極の場合	42	2.07	8.81	2.38%	76.81	

循環器内科では、地域周辺の医療機関からの紹介、離島施設からの紹介も多く、虚血性疾患（心筋梗塞や狭心症など）に対する経皮的冠動脈ステント留置術、経皮的カテーテル心筋焼灼術といった心臓カテーテル治療の症例が多くなっておりま。従来より循環器内科医師が24時間365日院内に待機している体制に加えて、モバイル心電図電送システムを活用した診断システムを採用して、心筋梗塞の患者様への早期診断・治療が可能となり、救命率・社会復帰率の向上につながっております。また、チーム医療に関しては、他科からの依頼も多く、最も多いのが腎臓内科の経皮的シャント拡張術となっております。

■腎臓内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K610-3	内シャント又は外シャント設置術	29	6.72	13.21	3.45%	68.66	
K616-4	経皮的シャント拡張術・血栓除去術	16	6.00	16.25	18.75%	72.50	
K0002	創傷処理 筋肉、臓器に達するもの（長径5センチメートル以上10センチメートル未満）	12	0.00	0.00	8.33	65.00	
K635-3	連続携帯式腹膜灌流用カテーテル腹腔内留置術	-	-	-	-	-	
K664	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）	-	-	-	-	-	

腎臓内科ではシャント設置術が多くなっております。シャント設置術とは、主に透析患者様に行われる手術です。体内に生じる老廃物を週に2～3回、1回4時間程度の透析で除去しなければならず、短時間にたくさんの血液を採取できるようにするための手術です。

また、シャント拡張術はバルーンをついたカテーテルをシャント内の狭窄部（狭くなっている部分）でふくらませることによって拡張する手術です。

外科、循環器内科と連携を取りながら、チーム医療に努めています。

*症例数が10件未満のものについては、患者様が特定され得るため情報は記載いたしません。

■糖尿病内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	-	-	-	-	-	
K664	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）	-	-	-	-	-	
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	-	-	-	-	-	
K0002	創傷処理 筋肉、臓器に達するもの（長径5センチメートル以上10センチメートル未満）	-	-	-	-	-	
K386	気管切開術	-	-	-	-	-	

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K0301	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術 肩、上腕、前腕、大腿、下腿、躯幹	30	0.93	4.37	0.00%	55.83	
K0021	デブリードマン 100平方センチメートル未満	22	5.91	16.41	13.64%	65.00	
K0503	腐骨摘出術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	20	14.50	43.50	40.00%	68.65	
K0842	四肢切断術 上腕、前腕、手、大腿、下腿、足	15	3.73	44.33	46.67	75.00	
K0063	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外） 長径6センチメートル以上12センチメートル未満	13	1.15	5.38	0.00%	32.38	

形成外科では主に皮膚体表面の病変や顔面骨の手術を実施しております。

形成外科ならではの再建技術・知識を用いてQOLに配慮した治療を行います。十分なインフォームド・コンセントを行い、治療法の選択は患者様の意向を尊重し、治療のゴールが共有されるよう努めています。

■脳神経外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K164-2	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	52	0.92	10.00	11.54%	76.94	
K1781	脳血管内手術 1箇所	33	2.00	8.33	3.03%	58.91	
K609-2	経皮的頸動脈ステント留置術	25	3.36	8.04	8.00%	74.72	
K1643	頭蓋内血腫除去術（開頭して行うもの） 脳内のもの	17	1.12	38.35	94.12%	65.29	
K1742	水頭症手術 シャント手術	17	4.35	18.12	47.06%	66.18	

当院、脳神経外科で多い手術は脳血管内手術です。この治療の特徴は、更に身体への負担を軽く治療ができます。また、当院は最高クラスの脳血管内治療設備が整っており、さらに脳血管内治療を迅速かつ的確に行えるよう訓練された沢山のスタッフがおり全国でもトップクラスです。

平成24年度以降においては、救急診療拡大、脳血管内手術、内視鏡手術等新しい手術の導入に伴って手術件数は飛躍的に増加しており、中でも脳動脈瘤コイル塞栓術につきましては、県内外トップレベルです。

■心臓血管外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K552-22	冠動脈、大動脈バイパス移植術（人工心肺を使用しないもの） 2吻合以上のもの	23	4.39	22.83	8.70%	70.96	
K5551	弁置換術 1弁のもの	19	6.32	23.37	15.79%	74.05	
K5552	弁置換術 2弁のもの	-	-	-	-	-	
K5553	弁置換術 3弁のもの	-	-	-	-	-	
K5601	大動脈瘤切除術（吻合または移植を含む）上行大動脈 大動脈置換術または形成術を伴うもの	-	-	-	-	-	

心臓血管外科で主に行われている手術は、冠状脈・大動脈バイパス移植術です。

この手術は患者様にとって侵襲の少ない「心拍動下冠動脈バイパス術」を100%完遂し、移植血管の開存率は97.1%と良好です。

*症例数が10件未満のものについては、患者様が特定され得るため情報は記載いたしません。

■産婦人科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K861	子宮内膜搔爬術	75	0.15	0.08	0.00%	47.79	○
K8882	子宮附属器腫瘍摘出術（両側） 腹腔鏡によるもの	71	1.24	3.21	0.00%	44.97	○
K872-3	子宮鏡下有茎粘膜下筋腫切除術、子宮内膜ポリープ切除術	47	0.23	0.21	0.00%	43.13	○
K867	子宮頸部（腔部）切除術	44	1.34	1.25	0.00%	44.20	○
K9091	流産手術 妊娠11週までの場合	39	0.21	0.23	0.00%	34.90	○

産婦人科で主に多い手術症例は、子宮内膜搔爬術です。子宮内膜に異常が見つかった場合に診断・治療を行うために実施します。次いで多いのが、卵巣腫瘍などがみつかった場合に、子宮付属器（卵巣・卵管）に対して行う腹腔鏡下手術です。当院では腹腔鏡下筋腫核出術、腹腔鏡下子宮全摘術、子宮鏡下筋腫核出術等の手術を行っており、傷跡も少なくすむことで患者様の身体への負担軽減にもつながります。次いで多いのが、上記のほか、当院は子宮頸癌に対して妊孕性温存の広汎子宮頸部摘出術も行っています。また、当院では帝王切開も数多く行っていますが、今回の抽出条件では計上されておられません。

■眼科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K2821 口	水晶体再建術 眼内レンズを挿入する場合 その他のもの	116	0.11	1.00	0.00%	75.54	
K2423	斜視手術 前転法及び後転法の併施	-	-	-	-	-	
K224	翼状片手術（弁の移植を要するもの）	-	-	-	-	-	
K2681	緑内障手術 虹彩切除術	-	-	-	-	-	

眼科では、白内障手術が最も多く、日帰り手術が大半を占めています。南部地区の地域医療支援病院として、各医療機関ともに連携を取り合い、眼科診療を提供しています。手術治療に関しましても、患者様のニーズにお答えできるよう努めています。
*症例数が10件未満のものについては、患者様が特定され得るため情報は記載いたしません。

■耳鼻咽喉科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K3772	口蓋扁桃手術 摘出	20	0.95	8.80	0.00%	26.20	○
K340-6	内視鏡下鼻・副鼻腔手術ⅠⅤ型（汎副鼻腔手術）	14	1.00	3.50	0.00%	46.64	○
K318	鼓膜形成手術	-	-	-	-	-	
K340-5	内視鏡下鼻・副鼻腔手術ⅠⅠⅠ型（選択的（複数洞）副鼻腔手術）	-	-	-	-	-	○
K347-5	内視鏡下鼻腔手術Ⅰ型（下鼻甲介手術）	-	-	-	-	-	○

耳鼻科では、内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅲ型の手術と口蓋扁桃摘出術が多く行われております。口蓋扁桃摘出術は扁桃炎を繰り返す患者様に実施される手術です。当院は、副鼻腔炎に行われる内視鏡下鼻・副鼻腔手術（ESS）を導入してから10年以上が経過し、その症例数も年々増加傾向にあります。これまでの副鼻腔手術のイメージとは違い、低侵襲な内視鏡手術を更に工夫することによって、より安全で負担の少ない鼻の手術を目指していきたいと思っております。
*症例数が10件未満のものについては、患者様が特定され得るため情報は記載いたしません。

■皮膚科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K0072	皮膚悪性腫瘍切除術 単純切除	16	0.63	6.38	0.00%	83.00	
K753	毛巣嚢、毛巣瘻、毛巣洞手術	-	-	-	-	-	
K0063	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外） 長径6センチメートル以上12センチメートル未満	-	-	-	-	-	
K0022	デブリードマン 100平方センチメートル以上3,000平方センチメートル未満	-	-	-	-	-	
K0061	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外） 長径3センチメートル未満	-	-	-	-	-	

皮膚科では、主に皮膚の腫瘍の摘出手術を行なっております。当科ではダーモスコープ診断により「痛みのない検査」で皮膚腫瘍の診断を行うことが可能です。いつも患者様のQOLを大切に考えて最良の医療サービスの提供に努めています。

*症例数が10件未満のものについては、患者様が特定され得るため情報は記載いたしません。

■泌尿器科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K7811	経尿道的尿路結石除去術 レーザーによるもの	106	0.63	3.85	0.94%	60.28	○
K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	70	0.41	6.40	4.29	64.59	○
K8036□	膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 その他のもの	57	1.46	6.60	0.00%	74.65	
K773	腎（尿管）悪性腫瘍手術	26	1.27	13.96	0.00%	64.27	
K8412	経尿道的前立腺手術 その他のもの	21	0.57	7.43	0.00%	71.10	

泌尿器科では尿路結石症（腎や尿管などに結石ができる病気）に対する治療の症例が多くあります。そのうちの一つ、経尿道的尿路結石除去術レーザーによるものです。尿道から内視鏡を挿入し、直接レーザーにて結石を粉砕することで、痛みや通過障害などを取り除くことが出来、手術件数は県内でも上位に位置づいております。

他にも、膀胱や腎（尿管）などに生じた悪性腫瘍（がん）に対する治療も数多く対応しており、腎摘出術については、腹腔鏡下での手術も行っております。

その他（DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

[ファイルをダウンロード](#)

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	0	0.00%
		異なる	5	0.04%
180010	敗血症	同一	63	0.50%
		異なる	61	0.49%
180035	その他の真菌感染症	同一	2	0.02%
		異なる	1	0.01%
180040	手術・処置等の合併症	同一	127	1.01%
		異なる	12	0.10%

当院は、手術・処置等の合併症の入院契機病名が『同一』である患者数が全体の1.01%と最も多く、手術・処置などの合併症を

主として入院し、治療をつける入院患者様が多いのが特徴です。

その中でも最も多いのが、人工透析を行う為に作成した人工血管に付随する閉塞や狭窄となっております。当院で人工透析を行っている患者様を初め、他院で人工透析を行っている患者様のシャント閉塞の紹介も多く、緊急入院治療・手術になった場合でも、内科・外科ともに専門医師での対応が可能です。